

市民の皆様には、それぞれに新たな夢や希望を持たれ、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、昨年中は、市政各般にわたり深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、我が国は、政府の経済再生に向けた諸施策によって、企業収益や雇用の改善等が見られるところではあります。一方、4月からの消費増税に伴う景気の腰折れ等も懸念されることとあり、国や地方行政を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

このような中にありましても、私は、市民に最も近い基礎自治体の長としての責任を果たすため、引き続き、県内トップクラスの財政健全性を維持しながら、市政運営に精一杯の努力をしまいる所存であります。

昨年を振り返りますと、富士山のユネスコ世界遺産登録や2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催が東京に決定され、身近な所では、本市出身の高藤直寿選手の世界柔道選手権での優勝など、明るいニュースが多かった反面、日本列島を直撃した台風や突風竜巻による自然災害によって、栃木県内をはじめ、全国各地で大きな被害が発生し、自然の驚異を再認識させられた年でもありました。

市政におきましては、市民と市、議

会がそれぞれの責任と役割を果たす、協働のまちづくりを推進するため、市民の皆様とともに、自治基本条例案の策定に取り組んでまいりました。

また、かねてより交流を続けてまいりました香川県高松市との間に、「歴史文化交流協定」と「災害時における相互支援協定」を締結したほか、本市の「シティセールス」を積極的に推進するための下野ブランドの認定やシティセールスを応援していただく市民サポーター制度を導入したところであります。

さらに、スポーツを通じた市民の健康づくりの拠点となる大松山運動公園の再整備に向けた基本構想の策定や、三王山地区での体験型公園の実施設計、新庁舎建設のための造成工事などにも取り組んだところであります。

その一方で、小山広域保健衛生組合の訴訟問題では、市民の皆様にご心配とご迷惑をかけたところであります。今後とも、構成市町と手を携えて、早期解決に向けて取り組んでまいります。

さて、迎えた新年の市政運営につきまして、まずは、まず、障がいのある人も住み慣れた地域で活動できる社会づくりを目指し、この1月中旬から公設民営による放課後等デイサービス事業等を開始し、障がい児・保護者のさらなる支援に努めてまいります。

また、「市民が主役の協働のまちづくり」を推進するため、市民の皆様とともに2か年をかけて策定した自治基本

条例案を3月の市議会に上程し、新年度からの施行を目指すとともに、本市の発展をさらに推し進める羅針盤となる「第2次下野市総合計画」や行財政改革を着実に進める「第3次下野市行政改革大綱」の策定に鋭意取り組んでまいります。

さらに、市民の皆様の「拠り所」となる新庁舎の本体工事に着手し、併せて、協働のまちづくりの推進と行政サービスの向上・効率化に向けて、市民目線に立った行政組織機構の見直しを行い、市民ニーズに迅速に対応できる体制づくりを行ってまいります。

本年は、下野市政の舵取り役を任せたいから、早や2期目の任期が満了となる年でもあります。

地方分権の進展や少子高齢化の進行に伴い、地方自治体を取り巻く環境は厳しさを増し、その舵取りも難しいものがあります。本市が持つ豊富な地域資源を最大限に活用しながら、更に大きく飛躍できるよう全力を尽くすことが私の使命であると決意を新たにしているところであります。

今後とも、市民の皆様にあたたかいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、今年が明るく希望の持てる年となるとともに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

市民と協働 さらなる飛躍

下野市長 広瀬寿雄

